取扱説明書

モノタロウ ガソリン携行缶(アルミボトル1L)

〔第四類　第一石油類　危険等級Ⅱ 火気厳禁 消防法適合品〕

注文コード:89877113

このたびは、ガソリン携行缶 (アルミボトル1L)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

1 仕様

質量(g)	150
容量(L)	1 (推奨給油量:0.9)
寸法(直径φ×高さH) (mm)	80×245
材質(本体)	アルミ
材質(ねじ部)	アルマイト
材質(ホース)	PE
材質(パッキン)	ゴム

2 安全にお使いいただくために

⚠危険　この表示内容を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が切迫して想定される内容をしめしています。

●本製品はガソリン、灯油、軽油の運搬および保管に使用するものです。使用目的以外で使用しないでください。事故やケガの原因になります。
●本製品を使った作業は危険が伴います。安全な作業場所を確保し、作業工程を熟知した上で作業をしてください。
●作業場所は常に整理整頓し、作業上障害となるような物は置かないでください。
●作業場所に、作業者以外近づけないでください。特にお子様は危険な行動をとることがあるので、近づけないよう十分注意してください。
●本製品はていねいに扱ってください。落としたり倒したりぶつけたりして、強い衝撃を与えた場合は、各部に異常がないか必ず確認してください。異常や損傷が見つかった場合は、速やかに作業を中止してください。絶対にご自分で分解修理を行わないでください。事故やケガの原因になります。

⚠警告　この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な障害に結びつく可能性があります。

●本製品は以下の場所で使用しないでください。
　—直射日光下
　—周辺温度が40℃以上になるような高温の場所
●作業中は必ず換気をし、作業場の通気をよくしてください。
●作業に適した服を着用してください。だぶだぶの衣服、ネックレスなどの装身具は着用しないでください。巻込まれたり引掛かったりして、ケガをするおそれがあります。
●安全のため安全ゴーグル、安全帽、安全手袋、防塵マスク、耳栓などを着用してください。塗装など呼吸器系統に影響がある作業を行う場合は、必ず防塵マスクを着用してください。
●長髪の人は、髪が巻込まれないよう十分注意してください。

3 ご使用方法

⚠警告

●本体に亀裂、変形、傷、損傷、さびなどの異常がないかよく確認してください。異常がある場合は、中身を抜いてただちに使用を中止してください。守らないと、漏れた燃料に引火して危険です。
●キャップや給油ノズル、パッキンに変形や損傷、劣化などの異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。守らないと、漏れた燃料に引火して危険です。
●ナイロンやポリエステルなど、静電気が発生しやすい服装で作業をしないでください。守らないと、気化した燃料に引火して危険です。
●給油および注油は、周囲に火気がないことを確認の上、行ってください。
●ガソリンを携行する際は、直射日光が当たったり高温になったりしないよう注意してください。守らないと、本製品が変形したり破裂して危険です。

⚠注意

●給油および注油は、万一あふれても周りの人や物に危険が及んだり汚したりしないよう注意して行ってください。
●キャップの開閉や給油ノズルの取付け・取外しの際に、指をはさまないよう注意してください。

4 給油について

本製品への給油：

①本製品を、給油口を上向きにして平坦な場所に置きます。
②キャップを外して、規定容量以内の燃料を入れます。
※シンナーや溶剤など、ガソリン、灯油、軽油以外のものを入れないでください。
本体のさびや劣化、破損、およびパッキンの劣化などの原因になります。
※ガソリンは規定容量以上入れないでください。ガソリンは、漏れやあふれ、飛散を防ぐため、上部に一定の空間が必要です。

③ネジ山がずれないように注意してキャップを締めます。
※キャップが確実に締まっていることを確認してください。緩みがあると、漏れて気化したガソリンに引火するなど大変危険です。

本製品からの注油：

①本製品を、給油口を上向きにして平坦な場所に置きます。
②キャップを外します。
③給油ノズルを取付けます。ガソリンが漏れないよう確実に取付けてください。
④給油ノズルの空気穴が上を向くように本製品をしっかり持ち、注油します。
※必ず空気穴が上を向くように持ってください。空気穴が下を向いていると、空気穴からガソリンが漏れて危険です。

⑤注油が終わったら、本製品を軽く振って、給油ノズルに残っているガソリンをボトル内に落とします。
⑥給油ノズルを外して、キャップを締めます。

5 保管

●内容物の有無にかかわらず、以下の場所を避けて保管してください。守らないと、変形や破裂、火災の原因になります。
—直射日光下
—火気の近くなど高温の場所
—温度差が大きい場所
●雨や雪が当たる場所、水気がある場所、湿気の多い場所を避けて保管してください。守らないと、サビや劣化の原因になります。
●ガソリンを入れたまま保管する場合は、キャップを確実に締め、平坦な場所で保管してください。守らないと、ガソリンが漏れたり、気化したガソリンに引火したりして非常に危険です。
●ガソリンを入れたまま長期保管する場合は、ときどきキャップを開けて内圧を調整してください（このとき周囲に火気がないことを確認してください）。守らないと、内圧の変化のため本製品が変形することがあります。
●空のまま長期保管する場合は、キャップをゆるめておいてください。再使用の前には、各部に破損や劣化などの異常がないか十分に確認してください。
●ガソリンは長期保存すると劣化します。早めにお使いください。
●缶は給油口が上向きになるよう常に平らな場所に置いてください。